

(株) 誠心堂薬局主催 誠心堂薬局創業 35 周年記念 妊活セミナー第 2 弾



2022 年 4 月 29 日 両角レディースクリニック両角和人 院長と趙貞華先生が講演するセ ミナーを開催

2022年4月29日『妊活セミナー～いよいよ始まる！不妊治療の保険適用』の第2弾として、銀座フェニックスプラザ（東京都中央区）にて妊活セミナーを開催しました。

講師には、高度生殖医療を専門とする銀座にある両角レディースクリニックの両角和人（もろがみ・かずと）院長をお招きし、4月から開始された不妊治療の保険適用や高齢の方の不妊治療戦略について、ご講演いただきました。また、誠心堂薬局からは中医学アドバイザーの趙貞華（ちょう・ていか）先生がご講演。中医学の両輪である漢方や鍼灸の妊娠率・出産率への有効性と、長年にわたる不妊にお悩みの方のご相談経験などについて講演されました。

ゴールデンウィークの連休初日にも関わらず、不妊治療をされているご夫婦やこれから妊活を考えている方など41名の方にご参加いただきました。講演のテーマもあるのか、年齢層は35歳以上の方が多く、女性の参加者のうち66%が40歳以上の方でした。カップルの参加も多く、男性の参加は36%を占めました。



両角 和人 先生

両角レディースクリニック 院長
日本生殖医学会生殖医療専門医
日本産婦人科学会専門医
福島県立医科大学 卒業
福島県立医科大学 大学院 卒業



趙 貞華 先生

中医師・中医学アドバイザー
登録販売者・鍼灸師
中国漢方普及協会学術副委員長
誠心堂薬局学術部課長

挨拶 代表取締役 西野裕一 「妊活に縁起のいい年『壬寅』」

セミナー開催にあたって代表取締役の西野裕一（にしのみ・ゆういち）より挨拶があり、「壬寅（みずのえとら）」という子宝にとって大変縁起のいい年に 35 周年を迎えることができ、お悩みの方には前向きに妊活に取り組んでもらいたいと願っています。



家庭と西洋医学の病院、東洋医学の漢方薬局や鍼灸での役割は異なります。そして、妊娠出産のためには役割それぞれが大切です」と述べ、不妊で悩まれている方を応援していく強い気持ちを表明しました。



第一部 趙貞華先生 「妊娠・出産率を高めるための漢方や鍼灸について」

中国伝統医学である中医学の考えに基づいた漢方薬や鍼灸治療についての基礎的なお話から、不妊治療における考え方で幅広いお話を分かりやすくまとめてご講演くださいました。世界では、中医学と西洋医学の治療のそれぞれの良さを取り入れ一緒に治療を行う中西結合医療が注目されています。その最新の治療効果についてもご紹介があり、高度生殖医療である体外受精と漢方薬や鍼灸を併用することで、治療効果が高まるというデータを複数ご提示くださいました。また、ご自身の日本での相談経験に基づいた体験談は、妊娠が困難な症例でも結果につながっている例が多数あり、同じようにお悩みの方にとって大変勇気づけられる内容だったかと思います。趙先生の言葉の数々は、長年不妊症のお客さんと向き合っているからこそ語れる言葉であり、その真摯な講演には感銘を受けられ涙ぐんでいらっしゃるお客様も見受けられました。

第二部 両角和人先生 「不妊治療の保険適用メリット・デメリット、ご夫婦のための40歳からの治療戦略」



両角和人先生は、2022年4月から開始された不妊治療の保険適用の講演について、まだ開始直後で不透明な点も多い中、お引受けくださいました。講演では、参加者が気になっていた費用面や自費診療との違いなどを分かりやすく解説いただきました。また、40歳以上の不妊治療戦略については、先生

の見解を分かりやすくお話くださり、多くの結果を出されている先生だからこそと言える力強いお言葉に、納得し、安心された方が多かったように見受けられました。お話の合間にはハワイや研究時代のお話など、先生の人柄も垣間見え、不妊治療の保険適用という大きな変化を迎える中においても、

何とかお悩みの方のお力になるために今できる最善を尽くすという志をもった姿勢を拝見し、医療者として尊敬するとともに大変心強く感じました。



以下、両角和人先生のご講演内容のポイントを簡単に箇条書きにまとめさせていただきます。

■ 不妊治療の保険適用について

- ① 費用負担が軽減され、施設や地域にかかわらず費用が統一され3割負担になる。
- ② 保険診療の治療費が高額な場合は高額療養費制度が受けられる。
- ③ 保険診療では、通常の刺激方法での採卵、受精、凍結、移植が可能。
- ④ 卵子凍結、精子凍結は自費診療となる。
- ⑤ エコーや採血は原則3回までが保険適用。
- ⑥ 不妊治療で使用する薬剤も保険適用だが、ホルモン剤の併用は不可。
- ⑦ 体外受精は年齢制限(43歳未満)と移植回数の制限がある。

【デメリット】貯胚ができない、最新医療ができない、PGT-Aができない、子宮鏡検査・内膜炎検査ができない、男性側の負担が増える(来院もしくはビデオ通話での同席が必要)。

■ 高齢の方のための不妊治療戦略

- ① 卵子の老化が一番の課題のため、貯胚を優先。相性があるため初期胚と胚盤胞の両方を凍結。十分に貯胚できてから新鮮胚移植へ移行する。新鮮胚が駄目なら凍結胚へ。
- ② 採卵はできるだけ早期に沢山採卵することを目標にする。1周期2回採卵など。
- ③ 移植前に腹腔鏡検査を行うことをお勧めする。
- ④ 誘発方法を最適化する。しっかりと成熟卵をつくる採卵計画をたてる。
- ⑤ 採卵を最適化し、優しく圧をかけないで丁寧に吸引する。
- ⑥ 受精方法は体外受精が勝る。
- ⑦ 新鮮胚移植の場合、子宮内膜をしっかりと厚くし、新鮮胚と初期胚の2個移植をする。



今回のセミナーを通して

西洋医学と中医学がそれぞれに得意とする役割を担い、一緒に成果を高めていく中西結合医療こそ、不妊に悩む方が増えている現代社会において、大きな希望になると実感できるセミナーでした。

中医学である漢方や鍼灸では、卵子・子宮、精巣といった生殖器の力を高め、妊娠しやすい身体に整えていくことを得意とします。一方、西洋医学では、採卵、受精、移植といった技術によって妊娠のためのステップを踏むことができます。どちらも専門の知識や経験、技術が問われます。中医学は中医学の専門家である中医学アドバイザーだからこそその見立てや治療プランがあり、高度生殖医療では、これまで不妊治療をけん引されてきた生殖医療専門医の先生だからこそその確かな技術や経験があります。

妊活にはどれだけ医療が進んだ現代においても年齢という壁があり、だからこそ、妊活を考えられている方には、できるだけ早期に真剣にご夫婦で向き合い、必要であれば最善の治療を選択できるようにすることがとても大切です。誠心堂薬局では、妊活を考えられている方や不妊治療で悩まれている方に、最新の正しい情報提供を心掛けています。今回のような気軽に参加できるセミナーがそういった前向きな妊活の一助となりましたら幸いです。

今後も、誠心堂薬局では、妊娠・出産・産後まで健康をトータルにサポートしていくために、スタッフ一同お悩みの方のお力になれるよう鋭意努力してまいります。

記/原田 愛子 (誠心堂薬局)